



2024年11月13日

各位

会社名 株式会社 成学社
代表者 代表取締役社長 永井 博
(コード：2179、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経営企画部長 山本 一之
TEL. 06-6373-1571

2025年3月期第2四半期（中間期）の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年5月15日に公表いたしました2025年3月期第2四半期（中間期）の業績予想値と実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績予想値と実績値との差異について

(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	6,328	△17	△24	△42	△7.65
当期実績 (B)	6,539	118	108	74	13.40
増減額 (B-A)	211	135	133	116	
増減率 (%)	3.3	—	—	—	
(参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	6,032	98	98	42	7.59

(2) 個別業績予想値と実績値との差異

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	6,074	0	△18	△3.31
当期実績 (B)	6,194	116	91	16.42
増減額 (B-A)	119	115	109	
増減率 (%)	2.0	—	—	
(参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	5,799	124	68	12.40

2. 差異の理由について

<連結業績>

売上高は、塾生数の好調な個別指導部門、連結子会社化した株式会社一会塾の寄与により予想値を上回りました。費用面では、売上の増加に伴う人件費の増加、連結子会社化に伴う一過性の費用等が発生したものの、売上高の伸びが大きく、営業利益は予想値を大幅に上回りました。その結果、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに黒字に転換いたしました。

<個別業績>

売上高は、前述のとおり、個別指導部門の寄与により予想値を上回りました。費用面では、積極的な塾生募集活動に伴う広告宣伝費の増加、教室開校費用の減少等がありましたが、売上高の伸びが大きく、各利益ともに黒字に転換いたしました。

なお、2025年3月期の通期業績予想については、出遅れている教室開校が下期に控えていること、当社グループを取り巻く今後の事業環境を鑑みて、現時点では2024年5月15日に公表いたしました内容に変更はありません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上